

NO. 68(令和5年5月31日発行)



社会福祉法人

愛の鈴

AINO-SUZU

愛の鈴通信



ケアホーム愛の鈴
設立から10周年を迎えました。

目次

- ・ 理事長のことば
- ・ 町田おかしの家 便り
- ・ ケアホーム愛の鈴 便り
- ・ 法人本部報告
- ・ 町田おかしの家 商品ラインナップ
- ・ アクセスマップ
- ・ 職員募集 編集後記

編集・制作：社会福祉法人 愛の鈴

理事長のことば

社会福祉法人愛の鈴
理事長 植草三樹男

「神様を信じるには、どうしたらいいのか？」
最近、自分は、神様を本気で信じていないかも？と考える機会が増えていきます。

【神様を信じる】とは、どういう事なんだろうか？
以前は、「信じる」ということは、もっと簡単にできることだと考えていました。

しかし、「信じる」ことは、口では簡単に言っても本気で信じていない自分だなと思うのです。「私は神様を信じます」と口先で言っていました。

信じたい！という希望はあるのだけど、年がら年中、そう思うことはできないのが正直なところ。

神様を信じられるようになるにはどうしたらいいのだろうか？？

先日、理学療法士さんと妻が話をしていました。

「いつまでにどの位歩けるようになりたいですか？」と質問されると、妻が「家の前の急坂を今年中に昇れるようにしてください」というのです。「え？？それって無茶でしょ？」と自分は心の中で思いました。

しかし、妻は「夫は絶対にあの坂を昇ります！！」と断言するわけです。「神様がついているし、皆が祈っているから大丈夫だって」いうのです。本気で信じているからこそ自信をもって断言するのかもしれない。

そういわれると本当に自分もあの坂を昇れるかも？と思えてきてしまうのです。不思議です。

「必ずいつか神様を信じられるから大丈夫だよ」と時々、声をかけてくれます。

そしたら、なんだかわからないけれど、自分も信じることができるかもしれないな、と嬉しくなります。

「必ず信じられるよ」と言われると勇気づけられます。

私は、まだなかなか断言する自信がありません。

まだ正解はわかりませんが、「どうしたら神様を信じられるのか？」を自分の力でなんとかしようと思わずに、祈るたびに聖霊様にお願いして頼ってみることにします。

2023年5月11日

町田おかしの家 便り

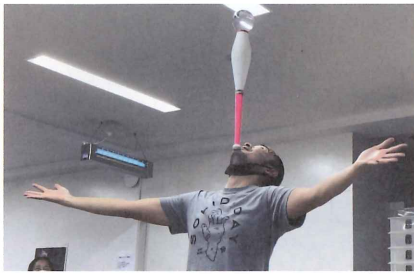
夏ゆず作業が始まります



今年もまもなく夏ゆず作業が始まります。お給料アップを目指してさまざまな作業に積極的に取り組んでいます。

< レクリエーション >

ジャグリング鑑賞・体験 (3月)



ジャグリングのパフォーマンスを目の前で見ることができ、体験もすることができ大いに盛り上がり楽しむことができました。平本さんありがとうございます。

工作 (5月)



パラシュート・パッチンカエル・紙飛行機の工作をしました。思った以上にみなさん楽しんでいました。



ひな祭りをみんなで祝いました。



吉村様よりじゃがいもの差し入れを頂きました。味が濃くとっても甘くておいしかったです。ありがとうございます。

誕生日会



素敵な花束のプレゼントで誕生日を祝いました。



ご近所の鈴木様にご厚意で草刈りをして頂きました。本当にいつもありがとうございました。

ケアホーム愛の鈴

日中支援 イチゴのムース作り



おいしいムースが
できました。



誕生日会



3月にH・Kさん、4月にA・Yさんのお誕生日会を開催しました。皆様、おめでとうございます。

送別会



手作りチーズケーキ



ご家庭の事情で引っ越すことになったOさんの送別会を3月末に開催しました。久しぶりの男女合同で行いました。Oさん、新天地でも頑張ってください。

法人本部報告

「評議員会 報告」

令和4年度 第3回（令和5年3月13日 午後開催）

- 議案
- ・ 令和4年度 第2次補正予算
 - ・ 令和5年度 事業計画
 - ・ 令和5年度 当初予算
 - ・ 役員及び評議員の報酬に関する規定の一部改正

その他

- ・ 愛の鈴後援会活動状況報告

「監事監査」

令和5年5月15日

社会福祉法人愛の鈴 事業実施状況及び計算書類の監査実施

「ご寄付受入状況報告」

（前回号から令和5年1月31日現在）（敬称略 50音順）

ご寄付・ご献品は、法人及び事業所利用者のためにありがたく使用させていただきます。

<法人全体へのご寄付（法人運営資金として）>

- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| ・ 浅見源司郎 | ・ 伊藤美保子 | ・ 猪野塚睦子 | ・ 植草三樹男 |
| ・ 宇佐美より子 | ・ 衛藤憲一 | ・ 加藤武仁 | ・ 久保田民子 |
| ・ 齋藤謹也 | ・ 齋藤美智子 | ・ 斉之平伸一 | ・ 柴田順一 |
| ・ 須賀みど里 | ・ 祢津都子 | ・ 松岡浩子 | ・ 森高登志夫 |
| ・ 横溝肖実 | ・ 吉田恵子 | | |
- ・ 宗教法人大和キリスト教会大和カルバリーチャペル 牧師 大川従道

<町田おかしの家へのご寄付（事業所運営資金として）>

- ・ 岩城弥生
- ・ 丹後美穂

<ケアホーム愛の鈴へのご寄付（事業所運営資金として）>

- ・ 猪野塚幸子

皆様の当法人及び事業所への温かな見守りのご支援、ご協力に感謝を申し上げます。

*当法人では、引き続き、皆様からのご寄付を募っております。

下記銀行口座へお振込みをいただくと幸いです。

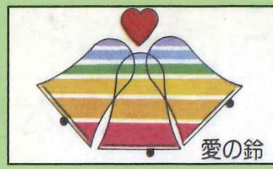
どうぞよろしくお願い申し上げます。

お振込先：みずほ銀行町田支店（普）1064633

社会福祉法人愛の鈴 理事 植草三樹男

町田おかしの家

～自主商品ラインナップ～



< 2023年 小満 >

各種1袋
120円

国産もち米を使用した

人気のおかし！

< 和シリーズ >



しょうゆ

アーモンド

しお

こつぶ

あまから

{ 下記箱詰め (15袋箱入り・18袋箱入り) と、おかし5種袋詰め承ります。 }

プチあんじゅ・こいそ豆からもお選び頂けます



15袋箱入り 2000円

18袋箱入り 2360円



5種袋詰め
700円

一口サイズの
あんドーナツ

プチあんじゅ



味わい豊かな豆菓子

こいそ豆



1袋各120円

日高産天然物



日高昆布 800円

こだわりの逸品

有明産



やきのり 400円



こちらのQRコードから、
町田おかしの家ホームページの
商品紹介にアクセスできます。

①



②



③



～香りと彩りの静岡県産お茶～

① 粉末緑茶 700円

② 煎茶 850円

③ 上煎茶 1000円

※①～③の中から2袋入り・3袋入りの
箱詰めも承ります。

アクセスマップ



就労継続支援B型 町田おかしの家

〒194-0035

東京都町田市忠生2-7-9

電話042-792-9773 FAX042-792-9767

E-mail okashinoie@ia2.itkeeper.ne.jp

小田急線・JR横浜線 町田駅から 神奈中バス 小山田桜台行
町田工業高校前 バス停下車 徒歩10分



共同生活援助 ケアホーム愛の鈴

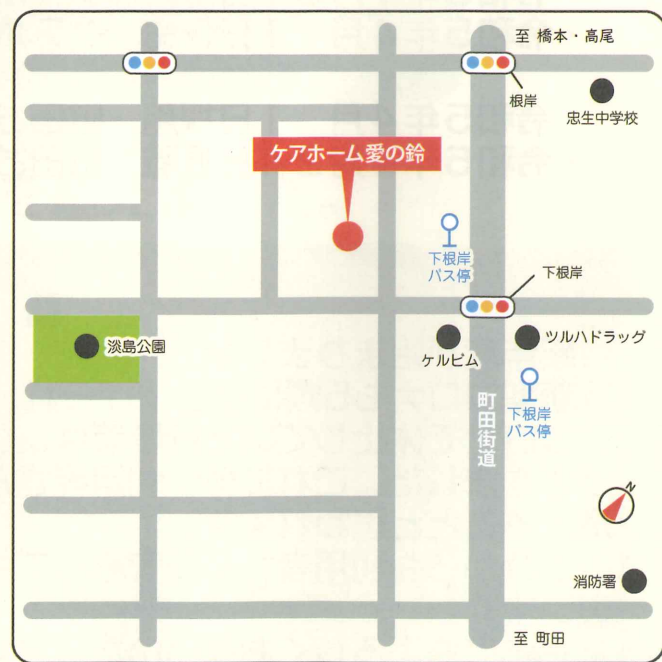
〒194-0038

東京都町田市根岸2-28-14

電話042-794-4120・4121 FAX042-794-4122

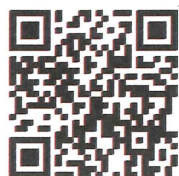
E-mail care.home@aino-suzu.jp

小田急線・JR横浜線 町田駅から 神奈中バス 野津田車庫前行
・小山田行・橋本駅北口行等 下根岸 バス停下車 徒歩5分



愛の鈴通信を読んだご感想等をお聞かせください。

※ご感想等ございましたら以下にご記入の上、法人ウェブサイトもしくはFAX・お手紙等でお送りください。今後の参考とさせていただきます。



<送付先>

住所：〒194-0035 東京都町田市忠生2-7-9

FAX: 042-792-9767 (町田おかしの家)

042-794-4122 (ケアホーム愛の鈴)

URL:<http://aino-suzu.jp/publics/index/3/>

※左のQRコードからお問合せフォームにアクセスできます

ケアホーム愛の鈴では生活支援員を募集しています。詳細は法人ウェブサイトの職員募集ページをご覧ください。各事業所までお問合せください。

<http://aino-suzu.jp/publics/index/11/>



人 事

- | | | | |
|--------------|----------|------------|-------|
| ・令和5年1月31日採用 | ケアホーム愛の鈴 | 関原 俊典 | (非常勤) |
| ・令和5年1月31日採用 | ケアホーム愛の鈴 | 栗島 義昌 | (非常勤) |
| ・令和5年1月31日採用 | ケアホーム愛の鈴 | 鈴木 克太郎 | (非常勤) |
| ・令和5年4月 1日任命 | ケアホーム愛の鈴 | サービス管理責任者 | |
| | | 河本 浩 | (常勤) |
| ・令和5年4月 1日採用 | 町田おかしの家 | 原子 昌平 (陽平) | (常勤) |
| ・令和5年4月24日退職 | 町田おかしの家 | 小山 由起夫 | (非常勤) |

編 集 後 記

新年度が始まりました。

新型コロナも5類に引き下げられ、日常の生活がもとに戻りつつあります。

コロナで休止していた行事等は、少しずつ以前のように再開できるようになってきました。これに伴い利用者さんの楽しみが増え、笑顔が多くなる機会が増えることと思われまます。

これからも利用者さんが安心して生活できるよう、努めてまいりたいと思います。

今年度もよろしく願いいたします。

河本